



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.63)

東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での令和2年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	7月～9月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	4台	3,708台
コンデンサ類	1,993台	73,323台

*低濃度 PCB 廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会を開催しました（書面開催）

9月24日～10月7日の間、第43回東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会（委員長：中杉修身 元上智大学教授）を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面により開催しました。

議題1として、令和元年度下期の操業状況

議題2として、長期保全計画に基づく令和元年度設備保全実施項目

議題3として、東京PCB処理事業所令和2年度これまでの操業状況と設備保全の実施状況

議題4として、リン含有PCB油の処理

議題5として、トラブル報告（給水加熱器差圧大による水熱反応器停止に係る原因と再発防止対策）

について、説明・報告内容を書面にてご確認いただき、ご意見・ご助言をいただきました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京 PCB 処理事業部会を開催しました

10月21日、JESCO 本社にて令和2年度第2回東京 PCB 処理事業部会（主査：永田勝也早稲田大学名誉教授）を新型コロナウイルス感染拡大防止対策の実施およびソーシャルディスタンスを確保した中で開催しました。

部会の概要は以下のとおりです。

議題1として、事故トラブル時の事業部会・環境安全委員会への報告等に関する今後の対応

議題2として、トラブル（個別）

議題3として、2020年度上期操業状況と設備保全の実施状況

議題4として、2020年度長期処理計画

議題5として、2020年度東京 PCB 処理事業部会の開催時期・議題

議題6のその他として、①東京 PCB 処理事業所低濃度 PCB 処理施設の解体撤去に係る検討の開始

②「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会に関する規程」の改定（WEB 会議、書面開催に関する規程を改定）について説明しました。

今後も各委員からご指導を頂き、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。



東京事業部会

トラブル報告

水熱分解設備において、2件のトラブルが発生しました。別添の概略系統図でお示しするように、8月4日には、水熱反応器の上流である、軟水装置の操作における人為的ミスにより給水加熱器の差圧上昇を生じ、水熱反応器を停止するトラブルが発生しました。また、10月10日には、水熱反応器の下流である、補助反応管出口部及び冷却器入口部から蒸気漏れが発生するトラブルが発生しました。2つのトラブルの関係も含めて原因究明と再発防止に取り組んでおりますが、それぞれのトラブルの概要を以下で説明します。

1. 給水加熱器差圧大による水熱反応器停止

水熱分解設備への給水は、軟水装置で硬度成分を除去し給水しています。しかし、7月26日に軟水装置の操作における人為的ミスにより硬度成分を除去せずに水熱分解設備へ給水したことを認識しつつ、運転を継続したために、反応温度を上昇させるための給水加熱器において、硬度成分が固体として析出してしまいました。析出によって給水加熱器の差圧等が上昇傾向にあったため、8月2日にNo.3水熱反応器を計画停止しました。No.1水熱反応器については、給水加熱器の差圧等を監視しながら運転継続をしておりましたが、8月4日に差圧がインターロック圧力まで急激に上昇したため緊急停止しました。なお、No.2水熱反応器は、正常に稼働していました。

トラブルの再発防止対策は、原因である人為的ミスの内容を調査し、手順書の見直し、教育、現場標示を行うとともに、異常時の連絡体制の徹底を図りました。

停止した水熱反応器の給水加熱器は、内部点検及び清掃を行い、8月25日からNo.3水熱反応器の、9月24日からNo.1水熱反応器のPCB処理を再開しました。

この停止による環境及び人身への影響はなく、事業（操業）への影響は軽微であり保管者の変圧器やコンデンサの搬入や処理への影響はありませんでした。

本トラブルは第43回環境安全委員会に報告して資料をホームページで公開しておりますので、下記URLよりご参照ください。

(URL : https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/environment/pla_43.html)

2. 水熱分解設備 No.1 反応器系統 補助反応管出口部及び冷却器入口部より蒸気漏れ

10月10日、水熱分解設備のNo.1反応器系統の補助反応管出口部及び冷却器入口部で蒸気漏れが発生しました。蒸気漏れを火災警報により検知しました。当初は火災の発生対応として、公設消防を要請するとともに、No.1～No.3系の反応器を全て緊急停止しました。そして、公設消防による検証の結果、「火災の事実なし」との見解が示されております。本トラブルによる、環境及び人身への影響はありません。

蒸気漏れが生じたNo.1反応器系について原因調査を進めており、原因究明結果を踏まえて再発防止対策を検討してまいります。また、No.2及びNo.3系反応器系は、No.1反応器系の原因究明結果も踏まえて、健全性の確認をしてまいります。

現状、再稼働時期の見通しは未定であり、事業への影響が懸念されますが、影響が最小限となるよう原因究明と再発防止に努めてまいります。

第2四半期（7月 - 9月）施設見学状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月19日から施設見学の受入を中止しております。再開の予定につきましては、改めてお知らせいたします

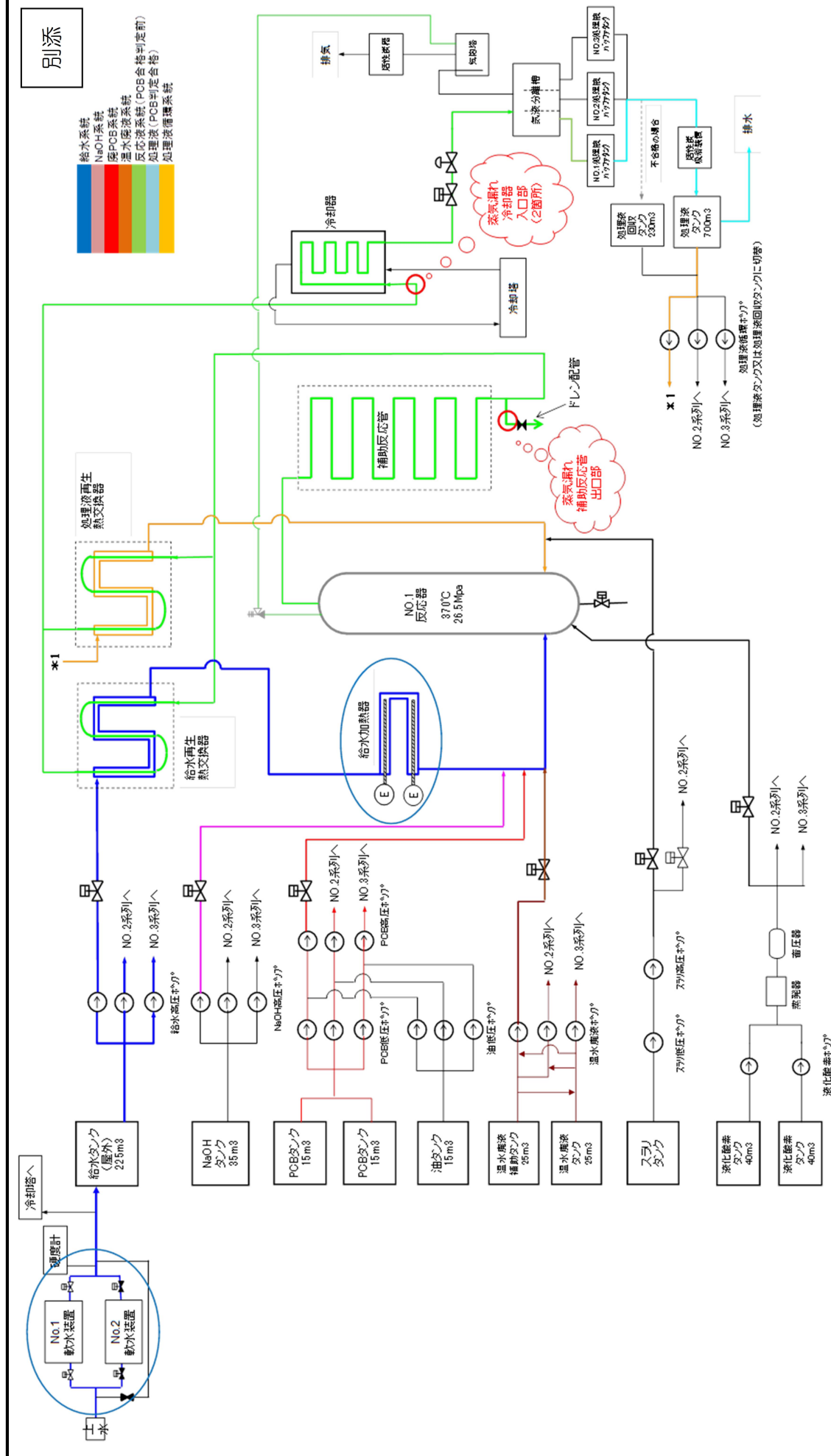


中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京 PCB 処理事業所

〒135-0066 江東区海の森二丁目2番66号

TEL03-3599-6023

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



水熱分解設備 概略系統図

給水加熱器差圧大による水熱反応器停止 (8月4日発生)
水熱分解設備 NO.1水熱反応器系統 補助反応管出口部及び冷却器入口より蒸気漏れ (10月10日発生)